

# ココがききたい



二次元コードからスマホで  
質問の内容が見られます！

辻 達広 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。



## 地域福祉とRSウィルス 対策の充実で安心安全な 香取市を

地域福祉を推進する社会福祉協議会  
(社協)の在り方について

Q 社協・地域包括支援センター・民生委員との役割分担や日常的な連携体制を、香取市はどのように整理し進めているのか。  
A 社協は、第3次香取市地域福祉活動計画を策定し、地域包括支援センターや社会福祉

団体などの関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んでいます。地域包括支援センターとの連携では、当センターの要望を受け生活支援サービス、日常生活自立支援事業「すまいる」、生活支援に関するボランティア利用などを提供しています。

Q 行政委託の増加に伴い、社協の自主性が損なわれないよう、香取市はどのように支援していくのか。  
A 社協では、「第3次基盤強化計画」を策定し、様々な場面で地域福祉の推進に取り組む独自性を発揮していますが、収益の確保が難しく活動継続には行政からの受託事業等が必要であると認識しています。

Q 会費収入や共同募金の減少が続く中、社協の財政基盤をどのように安定させていくのか。  
A 社協では、共同募金や会費収入は重要な財源のため、法人会費の拡充や共同募金運動の拡充により、持続可能な運営体制に取り組んでいくこと。香取市では、引き続き事業委託等を行う中で支援していきます。

Q 地域サロン・見守り活動・ボランティア支援の現状を香取市はどのように把握し、課題解決に向けてどのように取り組むのか。  
A 社協では、高齢者の積極的な社会参加を目的とした「ふれあいいきいきサロン」開催のほか、地域サロンの設立支援や継続支援を行っています。課題としては、新たな担

い手の参画や事業継続の財源確保などがあるとのこと。このほかボランティア養成講座等の開催や、企業や社会福祉法人などの地域貢献活動の立ち上げ支援を行うなど、ボランティアの参加促進に向けた取り組みも行われています。

## 公平な医療アクセスのために 必要なことは

Q 妊婦用・高齢者用それぞれのRSウィルスワクチンについて、香取市は有効性と安全性をどのように評価しているのか。  
A 妊婦用・高齢者用ともに臨床試験等により、有効性・安全性は確認されたと認識しています。妊婦用ワクチンは、生後6ヶ月までの乳児の重症化予防の効果があるとされ、定期接種により乳幼児の重症化を予防できると期待しています。高齢者用ワクチンは効果の持続性に関する十分なデータが得られていないため、重症化予防への貢献度合いについて、さらなる情報収集に努めていく方針としています。

Q 高齢者の経済的負担による接種控えを踏まえ、香取市として助成制度の導入や公平な医療アクセス確保をどのように検討していくのか。  
A 持病を持つなど、重症化リスクが高い方々が経済的な理由で接種を諦めることがないよう、支援策を研究する必要があると考えます。国・県や近隣市町の状況を注視し十分な研究を行っていきます。

Q 今後の課題をどのように捉えているのか。  
A 支援対象者の多様化・複雑化への対応、支援人員の安定確保、任意事業の実施体制及び財源確保、利用者ニーズに合致した個別支援の強化などの課題があります。特に、支援から漏れがちな層への対応強化のため、関係機関のネットワーク拡大を推進し、更なる連携体制の構築が必要と考えます。

## 「空き地条例」で生活環境を守れ

Q 空き地に雑草が繁茂することにより、市民の生活環境に悪影響を与えていることを、どのように捉えているのか。  
A 香取市では、香取市環境美化条例により、所有者等に空き地を適正に維持管理するよう指導等を行っています。雑草の繁茂により、ごみの不法投棄や害虫の発生など、環境への悪影響が懸念され、快適な生活環境保全のためには、様々な手法を検討し、空き地等の雑草対策を充実させることが必要と考えます。

Q 空き地に繁茂する雑草に対する要望が毎年あることから代執行を伴う「空き地条例」が必要だと考えるが、見解は。  
A 空き地等の雑草対策の充実のため、強制的な手法を伴う改善措置を義務付ける条例の調査・研究を行うとともに、指導の強化を含めた対策に取り組んでいきます。

Q 香取市でも新聞の複数配備のために一括して契約を行うことなどが必要だと考えるが、見解は。  
A 購読契約を一括して行うことは、児童生徒の学習環境の整備や、事務手続きの軽減に効果があると考えます。児童生徒の学習を効果的、効率的に進めることは、教育委員会の目標でもあり、今後、学校側の実情も踏まえ検討します。

## 持続できる 「生活困窮者自立支援制度」を

Q 生活に困窮していたり、その恐れがある人に寄り添い、幅広く支援する「生活困窮者自立支援制度」がスタートして10年を迎えたが、その果たしてきた役割をどのように捉えているのか。  
A 香取市では、延べ4万件を超える相談を受けてきました。生活困窮に陥る要因が多様化する中、個々の状況に応じた支援により、利用者の課題解決や自立促進、また、各世帯の生活を支える役割を果たしてきたと認識しています。

Q 文部科学省が「学校図書館図書整備等5か年計画」で推進している小中学校への新聞の複数配備の取り組みについて、香取市の現状と今後の新聞配備への見解は。  
A 国の示す配備数を達成しているのは、小中学校が15校中13校で87%、中学校が7校中3校で43%です。様々な内容の文章を正確に読み取り、正確に表現することは確かな学力の土台であり、我々が生活していくためになくしてはならない力でもあります。そのために新聞等の良質な文

## 小中学校へ新聞の 複数配備を



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

田代 一男 議員

